

第12回 自然系調査研究機関連絡会議 調査研究・活動事例発表会プログラム(予定)

2009年11月16日(月)

12:30~13:00	開場・受付(フォーラム246:神奈川県伊勢原市石田350)			
	司会進行 谷川 潔(神奈川県自然環境保全センター)			
13:00~13:15	挨拶		環境省生物多様性センター	神奈川県自然環境保全センター
●口頭発表	第一部 地域の自然史情報と生物多様性	座長:田村 淳(神奈川県自然環境保全センター)		
13:15~13:30	O-1	名古屋市内ため池の生物多様性	名古屋市環境科学研究所	榊原 靖
13:30~13:45	O-2	火山噴火が高山植生に与える影響(白山の場合-試論-)	石川県白山自然保護センター	東野 外志男
13:45~14:00	O-3	石川県における植物相調査と自然史情報の充実	石川県立自然史資料館	中野 真理子
14:00~14:15	O-4	石川県の海岸モニタリング調査について	のと海洋ふれあいセンター	池森 貴彦
●ポスター発表	(ポスター発表コアタイム)			
	P-1	群馬県の居住域に生育する絶滅危惧種雑草の分布と現状	群馬県立自然史博物館	大森 威宏
	P-2	群馬県下におけるニホンザルの分布の拡大と定着	群馬県立自然史博物館	姉崎 智子
	P-3	北九州市のため池に生育する絶滅危惧植物ガシャモクの現状	福岡県保健環境研究所	須田 隆一
	P-4	千葉県における県民参加型の生物モニタリング調査について	千葉県生物多様性センター	柴田 るり子
14:15~15:15	P-5	富士山北西麓の半自然草原におけるチョウ類の多様性と成虫資源の関係	山梨県環境科学研究所	北原 正彦
	P-6	レッドデータブックあいち2009について	愛知県環境調査センター	内田 康裕
	P-7	モニタリングサイト1000による沿岸域(磯、干潟、アマモ場、藻場)における長期モニタリングの開始	環境省生物多様性センター	藤田 道男
	P-8	日本太平洋沿岸の干潟における底生生物の出現パターン:モニタリングサイト 1000 沿岸域調査	環境省生物多様性センター	藤田 道男
	P-9	榎野川河口域における干潟再生活動について	山口県環境保健センター	角野 浩二

第12回 自然系調査研究機関連絡会議 調査研究・活動事例発表会プログラム(予定)

2009年11月16日(月)

●口頭発表	第二部 希少種と生物多様性の保全	座長: 林 道夫(名古屋市環境科学研究所)		
15:15~15:30	0-5 種の保存を目指した絶滅危惧植物ムラサキの増殖		岩手県環境保健研究センター	小山田 智彰
15:30~15:45	0-6 三瓶山地域における絶滅危惧植物ムラサキセンブリの衰退と保全		島根県立三瓶自然館	井上 雅仁
15:45~16:00	0-7 沿岸浅海域におけるグリーンタイド現象に関する研究		(独)国立環境研究所	石井 裕一
16:00~16:15	0-8 神奈川県における遺伝的多様性に留意した広葉樹種苗の生産		神奈川県自然環境保全センター	齋藤 央嗣
16:15~16:30	0-9 ブナ林衰退地域における共同研究の推進		(独)国立環境研究所	清水 英幸
	(休 息15分)			
●口頭発表	第三部 外来種問題、野生動物の現状と課題	座長: 阪口 法明(環境省生物多様性センター)		
16:45~17:00	0-10 長野県の獣害問題と現在の課題~ニホンザル被害問題を中心に		長野県環境保全研究所	陸 斉
17:00~17:15	0-11 野生生物の行政捕獲・調査データを用いた生息モデルの検討		埼玉県環境科学国際センター	嶋田 知英
17:15~17:30	0-12 福井県におけるアライグマの生息状況		福井県自然保護センター	水谷 瑞希
17:30~17:45	0-13 琵琶湖での特定外来生物指定植物種の防除について		滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	金子 有子
17:45~18:00	0-14 要注意外来水生植物コカナダモの侵入と定着機構		(独)国立環境研究所	矢部 徹
18:00	閉会			